

育英館大学 入学者受入方針

(アドミッション・ポリシー)

育英館大学は、「教育基本法及び学校教育法に基づく大学の教育をおこない地域社会に貢献し、「^{めいとく}明德^{※1}」「^{かくぶつ}格物^{※2}」の精神を基盤とする人間形成の教育を行い、平和・平等・共生の心をもった人材を育成することを目的とする。」(学則第一条)を理念としています。この理念をもとに、グローバルな情報化の流れに即応できる実践力と地域文化の発展に寄与する高度な学術知識を備えた人材を育成することを目指し教育・研究活動を行っています。

また、地域社会の持続可能な発展を担い、地域の中核となる広く市民に開かれた大学を目指します。そのために、育英館大学は次のような学生を求めています。

※1 正しく公明な徳

※2 物事の道理や本質を深く追求し、理解して知識や学問を深める

1. 情報メディアの開発とその多面的な活用に対して広い視野から関心を持ち、それらを用いて積極的に具体的な課題解決を図ろうとする人。
2. 地域社会と同時に国際社会に関心を持ち、他者と協働しながら社会で活躍する意欲のある人。

本学に入学するまでに、以下のような能力を獲得しておくことが期待されます。

科目	アドミッション・ポリシー
英語	グローバルな規模でのコミュニケーションを行うには、英語の運用能力が必須です。英語で表現された情報を受容するとともに、自らの考えを英語で発信するための基礎的な能力を修得しています。
数学	数学は論理的思考力の基礎となり、自然現象と社会現象を簡明に記述するための言語としての機能を持っています。高等学校までに学習する基本的な数学の知識と考え方を修得していることを期待します。
小論文	本学の教育課程の中心である「情報」と「メディア」の基礎は、高等学校までのさまざまな科目で横断的に学習することになっています。「情報」と「メディア」に関する基礎的な知識とともに、会話や読書や執筆を通して、文章を理解し自分の考えを明確に表現できる能力を修得していることを期待します。
国語	他者の考えを理解し、自分の考えを的確に説明するためには、国語の運用能力が重要です。会話や読書や執筆を通して、文章を読解し自分の考えを明確に表現できる能力を修得していることを期待します。
公民	現代の社会的な事象を理解して新たな実践に繋げていくために、現代社会の基本的な政治・経済のしくみとともに、現代社会の基盤になる思想について理解していることを期待します。
情報	現代は情報社会の進展に主体的に対応できる能力が必要とされます。そのため、情報社会を支える情報テクノロジーや情報通信ネットワークの基礎的な仕組みと、それらを運用する際に重要となる情報リテラシーや情報モラルおよび基礎的情報セキュリティの理解、関連する法規についての基本的な知識を身につけていることを期待します。

本学では、さまざまな能力を持つ学生を求めため、多様な選抜試験を実施しています。それぞれの選抜試験において求める学生は次の通りです。

選抜区分	アドミッション・ポリシー
総合型選抜 (AO)	本学の教育目標を理解し、課題の発見と解決の意欲があり、思考力・判断力・表現力が高く学習意欲を持った人物を選抜する。
総合型選抜 (自己推薦)	本学の教育目標を理解し、学力・人物ともに秀で、思考力・判断力・表現力が高く学習意欲を持った人物を選抜する。
学校推薦型選抜 (指定校・公募制)	高等学校からの推薦に基づき、本学の教育目標を理解し、成績・人物ともに優秀で意欲を持った人物を選抜する。
一般選抜	本学独自の入学者選抜試験によって、大学教育を受けるにふさわしい学力を持つ人物を選抜する。
一般選抜 (大学入学共通テスト利用選抜)	大学入学共通テストによって、大学教育を受けるにふさわしい学力を持つ人物を選抜する。
専門学科・総合学科卒業生選抜	高等学校での専門教育を主とする学科、または総合学科での学びを踏まえ、本学での専門的な学びに意欲のある人物を選抜する。
一般選抜 (社会人)	社会人としての経験を活かしながら、本学の教育目標を理解し、高い意欲で学習に取り組める人物を選抜する。
編入学選抜 (2年次・3年次)	高等教育初等レベルの思考力を活かしながら、本学の教育目標を理解し、高い意欲で学習に取り組める人物を選抜する。